

第二回 明日の日本を支える観光ビジョン会議  
外食産業における日本人と観光客の触れ合える場の創出について

2015年11月24日

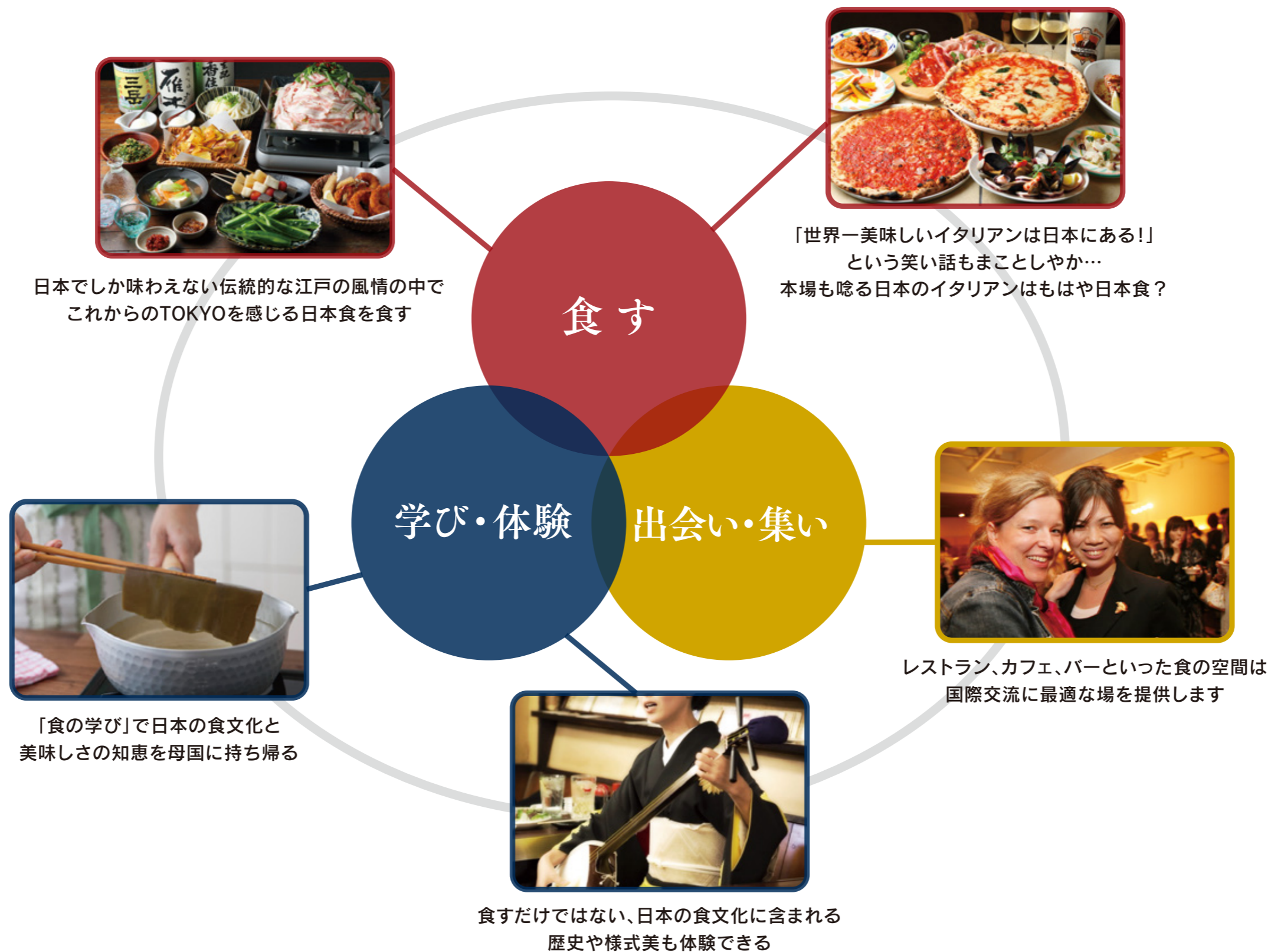


BALNIBARBI Co.,LTD.

# prologue

プロローグ

訪日外国人が日本で体験したい活動の第一位は96.6%で「日本食を食べる事」。\*観光庁、「訪日外国人消費者動向調査2013」引用  
訪日外国人の上昇(前年比48.2%アップ)に伴い、我々外食産業が未来の観光ビジョンに対し、  
貢献且つ影響を及ぼすことができるポイントは、3つあると考えます。



# 食す

世界的ブームの日本の食文化「和食」。

自然を尊重し、日本人の心を表したものであり、伝統的な社会慣習として世代を越え、受け継がれている「和食」。

連日溢れんばかりの観光客が訪れ、訪日外国人ツアーとしても人気の高い浅草からほど近く、“日本でしか味わえない江戸の風情”と“これからのTOKYO”を感じる飲み食い処として11月7日に誕生した同店での日本の食文化「和食」を発信。

## 訪日外国人が求める、江戸情緒と和の美味しさ



[ボン花火] 江戸情緒を残す隅田川を望むカジュアルな世界観  
東京都台東区駒形2丁目1-7 MKビル 1F・2F [www.bonhanabi.jp](http://www.bonhanabi.jp)



[焼くろ澤 駒形] 「TENPURA」「SUSHI」に次ぐ、和牛を使った「TEPPANYAKI」を目の前で  
東京都台東区駒形2丁目1-7 MKビル 3F [www.yakikurosawa.jp](http://www.yakikurosawa.jp)

## ホームシックってあるんです。

そうはいえど、食習慣というのは実は変えにくいもの。  
現地のもを食しても、時にはお国の食べ慣れたものも食べたいという  
訪日外国客のために付加価値の高い海外ブランドのお店を。  
ナポリピッツアの「アンティーカ ピッツェリア ダ ミケーレ」と  
シンガポールチキンライスの「ウィナムキーハイナンチキンライス」がオススメ!



L'Antica Pizzeria da Michele [恵比寿]  
東京都渋谷区恵比寿4-4-7 [www.damichele.jp](http://www.damichele.jp)



Wee Nam Kee Hainanese Chicken Rice [田町]  
東京都港区芝浦3-4-1 田町グランパーク1F [weenamkee.jp](http://weenamkee.jp)

## 憩いの場となる日本のオリジナルカフェ

欧米のカフェ文化と日本の喫茶が融合し独自に発展した  
日本オリジナルなスタイルのカフェは、アジア系の観光客はもとより  
多くの欧米人観光客の憩いの場となっています。



リバーサイドカフェ シエロイリオ [蔵前]  
東京都台東区蔵前2-15-5 MIRROR 1F  
[www.cieloyrio.com](http://www.cieloyrio.com)



GARB TOKYO [丸の内]  
東京都千代田区丸の内2-2-3 丸の内仲通りビル1F  
[www.garb.jp](http://www.garb.jp)

# 学び・体験

食の学びとはまさしく調理実体験。

日本の食文化「和食」は日本食そのものだけではなく、四季を感じる食材、また日本の豊かな土壌と長い歴史の中で培われてきた「日本の食に対する歴史や様式」もまた含まれます。何よりも「旨味(出汁)」こそ日本食の味わいであり、2013年に和食がユネスコ無形文化遺産の登録されたことや、2015年の食の祭典「ミラノ万博」の影響もある中、少しずつ認知され始めています。



## 出汁の取り方、出汁巻き卵の焼き方などを学べる料理教室

「日本の旨しは旨味から!」国際的にも味の要素として認定された日本発の味覚「旨味」は、多くの外国人に驚きを持って食されています。その典型となるお味噌汁や出し巻き卵の作り方を学んでいただき、その出汁の素をお持ち帰りいただきます。



和食[神田錦町 如月]



和食[神田錦町 如月]の女将[如月まみ]

## 和食「神田錦町 如月」の女将「如月まみ」による三味線・小唄・端唄の披露

日本酒唎酒師の資格を持ち、人気着物コーディネーターとしても活躍する酒場の女「如月まみ」が女将として立つ和食屋「神田錦町 如月」。お店では時折、自ら三味線を弾き、小唄、端唄の披露も。伝統的な和食を味わいながら、日本の様式美も体験いただけます。

# 出会い・集い

訪日外国人が体験する様々な交流はお互いの国や文化についての理解につながります。  
日本のインターナショナルな食事と日本人の「おもてなし」の心を感じる交流する場を創出します。



最もハードルが低く、幸せな国際交流とは…



実は、「国際結婚・国際恋愛」かもしれません！

バーやカフェ、レストランは、出逢いを導く  
カジュアルにコミュニケーションできる場を形づくります。



# epilogue

最後に

実は、日本の国際化は個人レベルで進むことこそが  
最もなだらかで軋轢を生まないプロセスであると考えます。

食し、学び、交流できる「日本人と観光客の触れ合える場の創出」こそが  
国境を越えた友人関係、恋愛関係、婚姻関係までに発展するのではないのでしょうか？

そのために飲食業が果たす役割は非常に大きく、  
だからこそ、より情報を広げる場の創出を整備について  
ご提案させていただきます。